

## キーエンス創業家の株式贈与

# 1500億円申告漏れ

国税指摘

キーエンスの創業者、  
滝崎武光名譽会長(71)  
の長男が大阪国税局の税  
務調査を受け、贈与され  
た資産管理会社の株式を  
巡り1500億円を超え

評価が著しく低いと判断されたといい、追徴税額は過少申告加算税を含め300億円超。既に全額納付したもようだ。  
滝崎家の資産管理会社「ティ・ティ」(非上場、大阪府豊中市)はキーエンスの発行済み株式の17%超(約7800億円相当)を保有する。滝崎氏はティ社株を現物出資して新たに非上場の資産管理会社を設立し、数年前、新会社の株式を長男に贈与した。  
国税庁は取引相場のない非上場株の評価額は、業種や事業内容が類似す

上場企業の株価などを  
に算定するよう通達で  
かめている。

長男は通達に沿って新  
会社株を評価したとい

うが、新会社がティ社を  
通じて大量のキーエンス  
株を間接保有しているこ  
とから、国税局は評価が  
過小だと認定したもよう  
だ。

滝崎氏は1974年、  
キーエンス前身のリー  
ド電機を設立。2000  
年まで社長、15年まで代  
表権を持つ会長を務め  
た。

日本経済新聞はキーエ  
ンスを通じ、滝崎氏と長  
男に事実関係の確認を求  
めたが、16日現在で回答  
はない。